

日本小児外科学会

令和5年度第8回定例理事会

日時：令和6年5月28日（火）11:00～14:40

会場：ヒルトン福岡シーホーク 3F ヴェガ

出席者：小野 滋（理事長）、家入里志（副理事長）、田尻達郎（理事・会長）、尾花和子、浮山越史（理事・次期会長）、石橋広樹、内田広夫、加治 建、田中秀明、平林 健、湊本康史、米田光宏（以上理事）、越永従道、奥山宏臣（以上監事）、照井慶太（庶務委員長）、田中奈々（庶務副委員長）、松浦俊治（庶務委員）、上原秀一郎（財務会計委員長）、山田洋平（財務会計副委員長）、渡邊佳子（庶務委員候補）、仁田尾慶太、柴田晶子（以上事務局）

13:00～14:30

田中 潔（第40回秋季シンポジウム会長）、大植孝治（第41回秋季シンポジウム会長）、岡島英明（専門医認定委員会委員長）、木下義晶（施設認定委員会委員長）、古村 眞（専門制度庶務委員会委員長）

議事案件：

議事：

1. 第8回定例理事会の議事録署名人は、湊本 康史理事・米田 光宏理事とした。
2. 令和5年度第7回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1) 第61回学術集会について（田尻会長）

田尻会長より学術集会開催にあたって挨拶が述べられた。資料に基づき、最終的な演題数は665演題、参加登録数は5月28日9時現在915名であり、さらに増える見込みであることが報告された。

会期：令和6年5月29日（水）～31日（金）

会場：ヒルトン福岡シーホーク

テーマ：真のQOL向上を目指して

2) 第62回学術集会について（浮山次期会長）

浮山次期会長より、資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

第62回学術集会事務局長に渡邊佳子先生が就任することが報告され、紹介された。

会期：令和7年6月5日（木）～6月7日（土）

会場：一橋大学一橋講堂 〒101-8439 千代田区一ツ橋 2-1-2

テーマ：天に星、地に花、人に愛～きみの想いを子どもたちのために～

開催形式：現地開催＋ライブ配信

3) 第40回秋季シンポジウムについて（田中秋季シンポジウム会長）

田中秋季シンポジウム会長より資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和6年10月26日（土）

演題募集期間：7月1日（月）～7月31日（水）

会場：一橋講堂

テーマ：少子化時代における小児外科医育成

4) 第41回秋季シンポジウムについて（大植次期秋季シンポジウム会長）

大植次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和7年11月1日（土）

会場：千里ライフサイエンスセンター

テーマ：新生児外科疾患の長期フォローにおける問題点

5) 第 42 回秋季シンポジウムについて（澁本次々期秋季シンポジウム会長）

澁本次々期秋季シンポジウム会長より口頭で進捗状況が報告され、承認された。

日程及び会場については、現在選定中であることが報告された。

日時:令和 8 年 10 月● 日(土)

会場:選定中

テーマ:小児外科領域における最新技術の応用

6) 評議員会・総会進行手順について（照井庶務委員長）

照井庶務委員長より、評議員会・総会進行手順について説明された。

7) 次々期会長、専門医制度委員選任について（照井庶務委員長）

照井庶務委員長より、選挙結果、投票詳細が伝えられた。

次々期会長選挙は内田広夫先生の信任投票となり、有効投票数 167 票の内、165 票を獲得したことが報告された。また、施設認定委員会委員は改選委員定数 4 名に対し立候補者は家入里志先生、神山雅史先生、黒部仁先生、佐々木英之先生の 4 名、専門医認定委員会委員は改選委員定数 4 名に対し立候補者は岡島英明先生、風間理郎先生、松浦俊治先生の 3 名で、いずれも定員内だったため、選挙がおこなわれなかったことが報告された。専門医認定委員の 1 名の欠員については、専門医制度施行細則第 8 条に基づき、前回選挙の次点である益子貴行先生に就任を依頼し、内諾を得たことが報告された。次々期会長、専門医制度委員選任については、社員総会で報告し、承認を得る予定であることが報告された。

8) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会（照井委員長）

照井委員長より、特別会員の藤野敏夫先生の追悼文について確認があり、奥山監事から機関紙委員会に執筆者を推薦することとなった。

(2) 財務会計委員会（上原委員長）

上原委員長より、令和 5 年度収支決算報告、令和 6 年度収支予算案につき説明があり、質疑応答の後、承認された。

(3) 専門医制度委員会（専門医制度各委員長）

木下施設認定委員会委員長、岡島専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長より、以下の点について報告、承認された。

- ・ 機構認定専門医制度のサブスペシャリティ領域の進捗について報告された。
- ・ 専門医制度施行細則 第 8 章 事務手続 第 38 条（年次報告）「認定施設は、年次報告を、毎年 3 月 31 日までに理事長に提出しなければならない」を「認定施設は、年次報告を、指定される期日までに理事長に提出しなければならない」に変更することが承認された。
- ・ NCD 小児外科専門医/指導医更新システムのデータ連携に関する不具合、NCD の対応及び提示された再発防止策について報告された。本件について、社員総会・NPO 総会で報告することが確認された。
- ・ サブスペシャリティ領域専門医制度関連会議について報告された。

(4) 機関誌委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・本年度（2024年、第61回学術集会）のJSPS学術集会最優秀論文賞（JSPS prize）について、以下の2論文の受賞が推薦され、承認された。また、Open Accessの権利は山岡先生の論文とすることにした。

1位：

筆頭著者：Bin Yamaoka

所属：日本大学小児外科

論文タイトル：NRP1 knockdown inhibits the invasion and migration of rhabdoid tumor of the kidney cells

サマリー：腎ラブドイド腫瘍（RTK）の癌遺伝子候補を検出し、その役割について in vitro で検証。Neuropilin 1（NRP1）に着目し、NRP1 ノックダウンで RTK 細胞の浸潤能・遊走能が低下することから、NRP1 が癌遺伝子として作用していることを示した。

2位

筆頭著者：Yoshiaki Takahashi

所属：九州大学

論文タイトル：Factors predicting the need for liver transplantation in biliary atresia patients after 18 years of age

サマリー：18歳以上になった胆道閉鎖症の自己肝生存患者について施設の症例を後方視的に解析し、移植になる可能性を予測できる因子を探索した研究。18歳時点での APRI, ALBI, BALF scores が自己肝生存群の方が肝移植群より有意に低く、特に18歳時点での APRI \geq 1.8 と BALF \geq 5.2 が成人後に肝移植が必要となる可能性を予測するのに有効な因子であることを示した。

（5）国際・広報委員会（渚本担当理事）

渚本担当理事より資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・英語ホームページ デモ版について報告された。
- ・小児救急委員会から提案された外科系小児救急受け入れ病院情報の表示方法について調整中であることが報告された。
- ・教育委員会から提案された本邦小児外科研修病院の表示方法について調整中であることが報告された。

（6）保険診療委員会（尾花担当理事）

尾花担当理事より、資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・令和5年度委員会活動について報告された。
- ・令和6年度診療報酬改定項目について報告された。
- ・令和8年度診療報酬改定項目の申請について報告された。
- ・保険診療委員会内の外保連委員交代について報告された。
- ・外保連各委員会からの報告について報告された。
- ・日本小児期外科系関連学会協議会について報告された。
- ・日本外科学会保険診療委員会 供給停止予定品目アンケート調査について報告された。

（7）教育委員会（内田担当理事）

内田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告され、承認された。

- ・令和6年8月10日土曜日に開催する小児外科サマースクールについて、募集人数20名に対し32名の応募があったことが報告された。キャンセルの連絡があった1名を除く31名全員の参加につ

いて、参加者増加に伴う 20 万円程の予算超過と併せて審議され、承認された。

- ・外科学会事務局より小児外科領域の E-learning 講座開設依頼があり、7 月までに参加の有無を表明してほしいとの依頼がなされたことが報告された。
- ・専門医機構からの専門医更新時における E-learning の整備要請に伴い、専門医委員会が日本外科学会プラットフォームを利用した E-learning 立ち上げが可能な検討中であることが報告された。
- ・ホームページ改訂について、小児外科学会ホームページの施設リストをわかりやすく改訂することや、小児外科専門医を志望する医師に具体的な方向性をイメージしてもらうために専門医取得までの道程や QOL・ライフイベントなどを提示することなどが提案された。
- ・田村亮委員（金沢医科大学）が今夏より海外勤務となるため、6 月 1 日付で狩野元宏評議員（慶應義塾大学）に交代する予定であることが報告された。
- ・6 月 30 日に開催する第 39 回卒後教育セミナー・第 16 回小児内視鏡外科手術セミナーについて報告された。
- ・セミナーの動画・テキスト・配布スライド等について、サーバーにアップして保管する体制を構築し、委員会で URL を引き継いでいくことが報告された。
- ・第 40 回卒後教育セミナー・第 17 回小児内視鏡外科手術セミナーについて、2025 年 1 月 13 日 web 開催予定であることが報告された。6 月開催の場合、委員会立ち上げ時期と被ってしまうため、今後は 1 月開催としていくことが報告された。

（8）悪性腫瘍委員会（平林担当理事）

平林担当理事より資料に基づき、悪性腫瘍登録事業地区センター幹事から残存データを回収作業中であること、また、回収整理作業において、一部に作業補助の謝金が発生する可能性があることが報告された。今まで作業補助の謝金が発生したことがなかったため、謝金の支払いについて議論し、東京都の時給を確認の上、委員会活動費から支出することが承認された。また、源泉が発生しないよう、調整することが確認された。

（9）学術・先進医療検討委員会（米田担当理事）

米田担当理事より、提出された資料に基づき報告され、承認された。

- ・「小児外科医のキャリアについてのアンケート調査」について、委員会での審議結果が報告され、当該アンケートの実施について承認された。

（10）倫理・医療安全管理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、提出された資料に基づき報告された。

- ・令和 6 年 3 月 14 日に開催された医療事故調査・支援センターの現況報告について報告された。
- ・第 61 回学術集会において令和 6 年 5 月 29 日(水)に開催される日本小児外科学会医療安全講習会について報告された。

（11）データベース委員会（田中担当理事）

田中担当理事より資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・2024 年 4 月 1 日（月）～4 月 19 日（金）にかけて公募した 2024 年度 NCD データ（小児外科領域）利用後ろ向き研究について、6 件の応募があったことと合わせて、審査状況について報告された。最終結果は 7 月の理事会で決定することが報告された。
- ・2023 年 9 月に提出された「先天性胆道拡張症におけるロボット支援手術の有用性及び安全性評価」の研究計画書の審査状況が報告された。
- ・2022 年 5 月に承認され東京大学医学部医療品質評価学講座にて実施した NCD 利用研究「NCD データを用いた地域医療提供体制の計画に資する分析の検討」の投稿準備中の資料について、審議中

であることが報告された。

- ・2024年度の小児外科学会 HP 内データベース委員会の項目の年次修正作業について報告された。
- ・NCD データを利用した研究の公募への応募ではなく、NCD のデータを使いたいという依頼が学会に届いた場合の対応を整備していくことになった。

(12) 小児救急検討委員会（平林担当理事）

平林担当理事より資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・2023年度の門田班研究のアンケート調査について報告された。
- ・2023年10月にインボイス制度が開始されたことに伴い、PALS 講習会の支払い方法が確認されたことが報告された。
- ・2024年4月17日に発生した豊後水道地震に対する日本小児外科学会の対応が時系列にそって報告された。

(13) トランジション検討委員会（加治担当理事）

加治担当理事より資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・「外科疾患を有する児の成人期移行についてのガイドブック第2版」、「移行期支援のための患者サマリー（2022年版）」使用状況についてのアンケート回答状況について報告された。
- ・2024年5月11日（土）に開催された第1回成人移行支援のあり方研究会について報告された。第2回成人移行支援のあり方研究会は2025年4月26日（土）京王プラザで開催予定であることが報告された。

(14) ワーク・ライフ・バランス検討委員会（尾花担当理事）

尾花担当理事より、口頭で第61回日本小児外科学会学術集会での学会との共同企画について報告された。

(15) 規約委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(16) 研究倫理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の一部改正に関する周知のお願いについて報告され、学会HPへの掲載と会員ニュースで配信することが承認された。
- ・「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」の更新についての周知のお願いについて報告され、学会HPへの掲載と会員ニュースで配信することが承認された。
- ・日本外科学会が2024年3月に更新した倫理指針を2025年開催の第125回学術集会から運用開始することを受けて、日本小児外科学会の会員への周知や新しい倫理指針に切り替えるタイミング等について議論され、会員に対しては総会で報告することとなった。また、切り替えのタイミングについては武富紹日本外科学会理事長に確認することとなった。

(17) NCD 連絡委員会（渚本担当理事）

渚本担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・NCD-P Risk calculator の予後予測能改良のための研究を学会主導で進めてもよいか審議され、承認された。費用についてはこれから相談していくこととし、将来的には使用実施報告を提出することが確認された。

(18) ガイドライン委員会（加治担当理事）

加治担当理事より資料に基づき以下の点について報告があり、承認された。

- ・2024年5月「胆道閉鎖症診療ガイドライン第2版」について学会で承認されたことが報告された。
- ・2024年4月「技術認定取得者のための内視鏡外科診療ガイドライン（2023年版）」英文化・Minds掲載承認されたことについて報告された。
- ・腸回転異常症診療ガイドラインについて2024年4月17日付でMindsガイドラインライブラリに掲載されたことが報告された。
- ・小児胃軸捻転症診療ガイドラインについて、一般向け解説を作成中であることが報告された。
- ・先天性食道閉鎖症診療ガイドラインについて、組織編成が終了し、2024年3月19日にキックオフミーティングが開催されたことが報告された。
- ・作成協力をしている胆道閉鎖症診療ガイドライン改訂、先天性高インスリン血症診療ガイドライン改訂の進捗状況について報告された。
- ・学会HPに掲載されているガイドラインの更新について報告された。

(19) 利益相反委員会（米田担当理事）

米田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（内田担当理事）

内田担当理事より、ペリスティーンアナルプラグの供給停止に対して、日本医師会疑義解釈委員会への意見書を提出したことが報告された。

(21) ロボット支援手術検討委員会（家入副理事長）

家入副理事長より資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・城田千代栄先生のプロクター申請が承認されたことが報告された。
- ・1月29日に開催された遠隔手術支援の社会実装に向けたWGについて報告された。
- ・2月13日に委員会が開催されたことが報告された。

(22) 総合調整委員会（家入副理事長）

家入副理事長より、2月19日に開催された総合調整委員会での検討事項について報告された。

- ・他学会との学術集会でのコラボレーションについて
- ・働き方改革に対する学会の取り組み
- ・子ども家庭庁への学会からの要望について
- ・新専門医制度への対応について
- ・U45WGの今後の活動方針について
- ・学術集会のあり方について
- ・NCD Audit委員会について（アドホック委員会の是非）
- ・小児外科専門医の適正配置について（地域ブロック制についての検討）
- ・小児外科関連研究会の今後のあり方
- ・英語HPについて
- ・海外での研修システム、海外からの研修の受け入れについて
- ・その他（胆道閉鎖症研究会の登録事業に関する本学会のAuthorizeに関する進捗状況について）

(23) 日本外科学会理事会（田尻前々理事長）

田尻前々理事長より、北海道大学の武富紹信先生が理事長に就任されたことが報告された。

- ・武富日本外科学会理事長には、第61回日本小児外科学会学術集会の学会企画2で御講演いただく予定であることが報告された。

(24) 四者協関連（小野理事長）

小野理事長より口頭で出席状況について報告された。

9) JMA Journal 査読協力依頼（小野理事長）

小野理事長より、日本医師会から JMA Journal 査読協力依頼があったことが報告され、機関誌委員会から小野理事長に推薦することとなった。

10) 令和6年度定例理事会・総合調整委員会日程について（小野理事長）

小野理事長より、令和6年度定例理事会の開催日について後日メールかWEBにて日程調整を行うことが報告された。総合調整委員会については例年通り後日に調整することとなった。

4. 報告事項

1) 理事長報告（奥山理事長）

(1) 令和5年度第13回メール審議：ペリステーションアナルプラグの供給停止に対する、アナルプラグ要望書の日本医師会疑義解釈委員会への提出について議決した。

(2) 令和5年度第14回メール審議：NP0 解散に向かう手続き全般についての是非及び5月30日のNP0 総会の後に臨時NP0 総会を開催することの是非について議決した。

(3) 令和5年度第15回メール審議：日本内視鏡外科学会から承認依頼された『技術認定取得者のための内視鏡外科診療ガイドライン（2023年版）』を英文化・ASES 掲載およびMinds ガイドラインライブラリへ掲載することについて議決した。

(4) 令和5年度第16回メール審議：日本肝胆膵外科学会から承認依頼されたロボット支援総胆管拡張症手術2機種目のプロクター認定に関する基準及び指針の修正について議決した。

(5) 「臨床研究法施行規則の施行等について」の一部改正について報告された。

(6) 輸液製剤協議会からお礼状と併せて「2024年薬価改定に関するご報告」が届いたことが報告された。

(7) 日本集中治療医学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。

(8) 日本人間ドック・予防医療学会からの通信文「学会名変更のご挨拶」を受領した。

(9) 日本栄養治療学会からの通信文「学会名称変更のお知らせ」を受領した。

(10) 日本外科学会からの通信文「代表者交代通知」を受領した。

(11) 日本医師会女性医師センターからの寄贈本「医師の多様な働き方を支えるハンドブック」を受領した。

(12) 日本小児科医会からの寄贈本「令和4年度#8000 情報収集分析事業報告書」を受領した。

(13) 日本小児感染症学会からの寄贈本「(一社) 日本小児感染症学会監修 免疫不全状態にある患者に対する予防接種ガイドライン 2024」を受領した。

(14) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.409」を受領した。

(15) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「ニューズレター5月号」を受領した。

(16) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「2023年度事業計画書」を受領した。

(17) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ! Vol.204」を受領した。

(18) 日本産科婦人科学会からの寄贈本「日本産科婦人科学会 75年史」を受領した。

3) 次回定例理事会日程の確認（小野理事長）

次回理事会は令和6年度定例理事会・総合調整委員会日程調整後に決定することが確認された。

5. 事業ならびに会計監査報告

越永・奥山両監事から令和5年度の学会事業及び、会計について意見が述べられた。

- ・委員会の名称や活動内容は時代のニーズや学会の趣旨にあうように進化させていただきたい。
- ・卒後教育セミナーが完全WEB開催になったことで、より一層会員の便宜を図ったものとなった。今後はさらにバーチャルな方向や参加型での開催の検討も必要と思われる。
- ・専門医制度に関連する事項では、各医療圏における小児外科医の適切な配置数を検討していただきたい。小児医療、外科医療における希少医療疾患の先験的な検討を行い、ポジションペーパーなどの発行にこぎつけければ、さらに本学会のブランド力や発信力が増すと考えられる。
- ・学生や若手医師へのリクルートは理事会主導で発展してきていると感じている。さらに発展させていただきたい。
- ・U45WGの活動などを理事会の施策に反映させていただきたい。
- ・ハラスメント防止宣言を学会HPに掲載したことは大変良いことであった。
- ・会員のための自由な学術活動を守るため、一般社団法人となることは、名実ともに真の学術団体に成長することと理解している。この移行作業に携わった理事、庶務、財務委員会の先生方、事務局には改めて感謝申し上げます。
- ・堅実に運営されている。財務的に少し余裕があるので委員会活動などの幅を広げていっていただきたい。
- ・外科医の減少について、外科学会と連携して取り組んでいっていただきたい。サマースクールのように学生の内からアプローチするのも一つの方法だと思う。

理事長

理事

理事